



志賀高原ユネスコエコパーク

信州 たかやま議会

123号

2018年4月25日

発行／高山村議会
発行責任者／酒井 康臣
編集／議会報編集委員会



123号 目次

3月定例会	
平成30年度予算	2-3
予算審査特別委員会	4-5
予算案討論・条例	6
一般質問(7名)	7-14
委員会・研修・視察報告	15
わたしの声 高山村で暮らす私達	16



たかやま保育園入園式

とても暖かな陽気が続いて、サクラも例年になく早く咲き始めました。たかやま保育園は新入園児33名を迎えて160名と職員33名でスタート。写真は中央の新入園児とみんなで「チューリップ」を歌っているところです。可愛い手を「チューリップ」の形に……なかなか難しいようです。4月4日。

一般会計予算

3月定例会

平成30年第1回高山村議会定例会は、3月1日から16日までの16日間にわたり開催されました。今議会に提案された案件は39件に上り、いずれも可決いたしました。また平成30年度予算については「予算審査特別委員会」を設置し審査をしました。3月6日の一般質問には7名の議員が登壇し、村政を質しました。

平成30年度予算

平成30年度予算関係の9件は「予算審査特別委員会」において、4日間にわたって慎重に審査をし、16日の本会議で予算9件すべて可決しました。予算審査特別委員会における質疑の内容は4、5頁にまとめてあります。

一般会計予算

一般会計は平成27年度46億3700万円、28年度40億4500万円、29年度41億1900万円と40億円を超えた予算が続いてきましたが、30年度は前年比3・9%減の39億5800万円と1億6100万円縮小しました。これは学校給食センターや七味温泉橋などの大型事業が一段落したことな

条例制定

「防災資機材備蓄倉庫」と「居宅介護支援」に関する2件の新規条例は全員賛成により可決しました。

条例改正

「報酬」「村税」「国保」「介護」等に関する11件の条例改正は全員賛成により可決しました。

平成29年度補正予算

平成29年度の一般会計・特別会計等関連8件の補正予算は全員賛成により可決しました。

その他の議案

橋梁工事請負変更など即決議案3件、高山村道路線の変更など4件の議案は全員賛成により可決しました。

同意案件

「固定資産評価審査委員の選任」と「農業委員の任命」の2件の同意は全員賛成により可決しました。

国民健康保険 特別会計予算

特別会計の中で最大の構成比を占める国民健康保険特別会計は前年度比9・9%減の8億9986万円、9868万円の減額です。これは持続可能な医療保険制度・国民皆保険のため、4月に制度改正し、県が市町村と運営を担うことが要因です。

平成30年度 一般会計、特別・公営企業会計

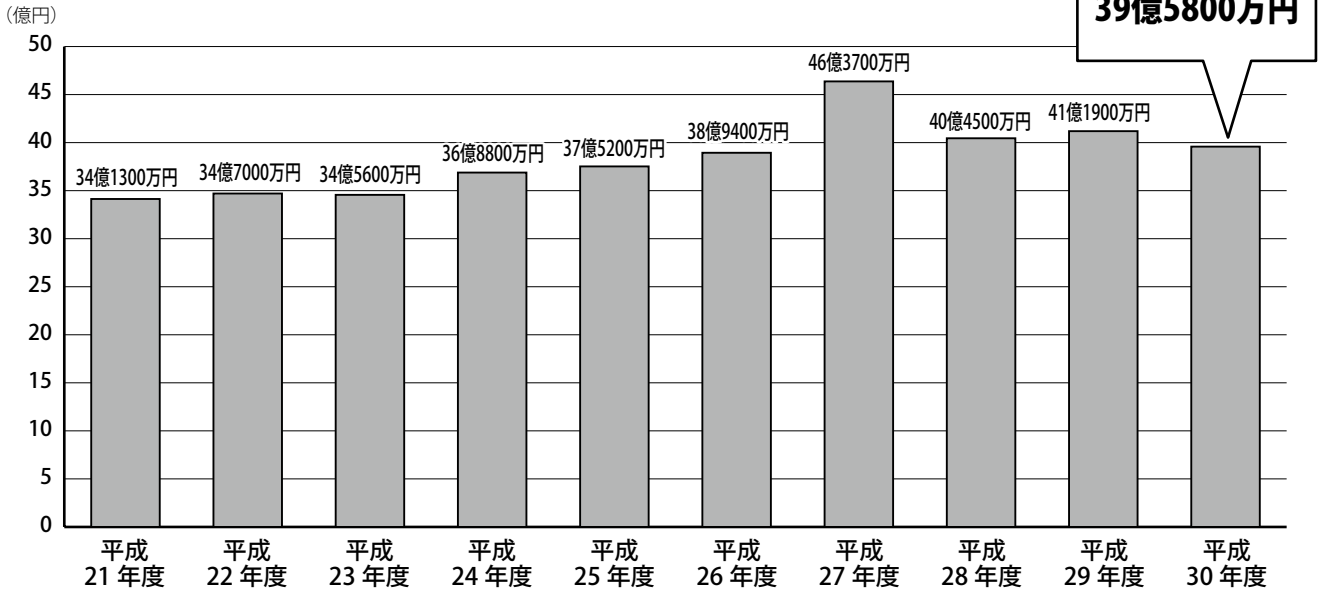
大型事業が一段落、前年比3.9%減

会 計	平成30年度 予算額	対前年		
		増減額	増減比	
一般会計	39億5800万円	△1億6100万円	△3.9%	
特別会計	国民健康保険特別会計	8億9986万円	△9868万円	△9.9%
	診療所特別会計	7716万円	490万円	6.8%
	介護保険特別会計	7億659万円	446万円	0.6%
	後期高齢者医療特別会計	7951万円	587万円	8.0%
	温泉開発事業特別会計	2924万円	△17万円	△0.6%
	農業集落排水特別会計	9497万円	△401万円	△4.1%
	下水道事業特別会計	2億1700万円	△1153万円	△5.0%
公営企業会計	1億8019万円	923万円	5.4%	
合 計	62億4252万円	△2億5093万円	△3.9%	

一般会計と特別・公営企業会計を合わせて2億5093万円の大幅減額。経常的経費の抑制を図り、健全財政を目指す方向の予算案。

4年ぶりに40億円を割る

一般会計予算の推移



平成 27 年度予算が飛びぬけて大きいのは、学校給食センター建設のための予算があるためです。グラフの推移から直近の 3 年度だけが 40 億円を超えていることが分かります。

平成 30 年度 主要施策 健全財政を目指せるか

新規	地域公共交通再編	3366 万円
	高校生バス通学補助	200 万円
	高齢者等公共交通利用者支援	150 万円
	公衆無線 LAN 環境整備	1130 万円
	移動系防災行政無線のデジタル化整備	540 万円
	賑わいの場プロジェクト調査検討	400 万円
	畜産クラスター計画に基づく畜舎等施設整備	2000 万円
	蕨温泉施設改修	5152 万円
	高齢者福祉センター施設改修	377 万円
	高山診療所レントゲン機器等整備	768 万円
	消防団防火衣整備	146 万円
	小学校副読本発行「村の歴史等」	404 万円
	拡大	新規の胃がん内視鏡検診を含む健康診査
給食費の負担軽減		452 万円
新規就農者支援		1772 万円
後期高齢者医療費負担		7107 万円
消防ポンプ車等整備		629 万円
重点	YOU 游ランド施設改修	3808 万円



学校給食費の負担軽減を拡大。



新規就農者支援事業による体験会。

新しい交通システム、デジタル環境整備、高齢者支援、健康支援のほか、老朽化に伴い蕨温泉施設と YOU 游ランドを改修します。

村民のための 予算になっているか

3月7日から12日まで、30年度予算を集中審査するための特別委員会を開きました。
委員長に涌井仙一郎議員、副委員長に松本茂議員を選出し、予算に対して活発な質疑・要望等がありました。

総務課

質問…人事評価制度構築導入支援業務の委託先と内容は。

答弁…委託先は民間業者。内容としては人事評価システムの運用研修及び公平・公正な評価が実施できるような評価者及び被評価者研修を行います。なお、平成28年度から人事評価に関する研修を行っているが、今後はこれまでの構築したデータの利用に関する研修も行っていききたいと考えています。

質問…公共施設劣化調査は

劣化のみではなく、利用度・貢献度も調査されているのか。

答弁…利用度・貢献度は通常の業務の中で調査することとし、今回の調査では専門家でなければわからない劣化等に関する調査のみを外部に委託します。

質問…住宅用太陽光発電システム設置補助金は見直しを行っているのか。

答弁…本年度は昨年と同額の予算を計上しています。村の方向性として、環境にやさしい村づくりをかねており、現時点で見直しを行っていく予定はありません。

質問…自主防災会の法被は区長のみで購入なのか。代理区長分はないのか。

答弁…今年度は区長分26着のみ購入予算を計上しています。代理区長分については今後検討します。

村民生活課

質問…ICカードシステムは、デマンド交通でもバスでも利用できるのか。

答弁…幹線交通（バス）でも支線交通（デマンド）でも利用できるようにします。車両にはハンディ型のカー

ド読み込み機を搭載する予定です。

質問…不妊治療補助金は人口増を掲げているのに予算計上が少ないのではないか。

答弁…例年予算として1人あたり50万円とし2名分予算計上しています。高度治療の場合、県の補助金を優先的に使用してもらっています。不足分については補正予算で対応します。

質問…YOU游ランドの会員の人数は。

答弁…平成28年度実績で会員は417名。内訳は高山村民174名、須坂市158名、小布施町50名、その他市町村35名です。

質問…介護保険要支援1と2の方の人数は。施設入所者の人数は。

答弁…平成29年12月末時点の人数。要支援1は50名、要支援2は34名。居宅介護者は228名のうち要支援者は54名。地域密着型サービスマン52名うち要支援者0名です。

産業振興課

質問…グローバルGAPについて対象農家の件数は。いつまでに取得を目指すのか。

答弁…具体的な計画・目標年度までは定められない状況です。県では、グローバルGAPの講師の育成を行っているところとして、段階的です。

質問…環境保全型農業直接支払交付金は具体的にどのようなところへ交付しているのか。有機農法によりかえって農地が荒れてしまうことのないよう、いいかげんにやっているところには交付のチェックを厳しく行ってほしい。

答弁…化学肥料、農薬を使わない有機農業者（冬期湛水など）へ補助を行っています。農地管理が不備の場合にご連絡ください。

質問…松くい虫被害木の処理・実態はどうなっているか。

答弁…燻蒸と破碎を行っています。高山大橋、久保

中原、三郷などの地区に被害が多い。気候により松くい虫の被害量は異なるが、平成29年度は例年に比べ被害が少なかった。

質問…賑わいの場プロジェクトとはどんなものか。

答弁…村長公約の道の駅・星の駅構想を検討する庁内のプロジェクトチームの名称であり、調査検討を行います。

教育委員会

質問…空き教室の現状とその利用状況は。

答弁…小学校では児童会室や総合的な学習の教室として、中学校では生徒会室などとして空き教室を有効に活用しています。

質問…子育て支援センターが狭くなっているようだが、今後どのように考えているか。

答弁…文化施設と合わせて考えていたが、切り離して考えることになりました。今年度中に場所・規模・内容等概略

を考えていきます。

質問…児童クラブに午後7時まで勤務できる責任者を置くべきではないか。

答弁…子育て支援センターの設置における議論の中で、児童クラブとの調整も出てくると思うので、そのなかでこの問題についても解決できればと考えています。職員の採用や人事に関する問題であるので慎重に検討します。

質問…子育て支援センターはどのような方が利用され、その内容は。

答弁…子どもを保育園に預けていない方が利用されます。子育て相談・情報交換の場所であり、楽しみながら子育てをしてもらうためのサポートを行っています。

建設水道課

質問…山田牧場の花街道整備はキンセンカ等ではなく、アジサイ等の場所に合ったものを。

答弁…検討します。

質問…道の駅研究会（賑わいの場研究会）のメンバーは決まっているのか。

答弁…研究会のメンバーは今後人選します。

質問…山田温泉スキー場の駐車場、村で買い上げて道路認定ができないか。

答弁…村としては、登記をするにあたり多額の費用が掛かるので、現在行っている山林の地籍調査に合わせて実施したいと考えています。

質問…橋梁照明をLED化にできないか。

答弁…LED化を検討したが、電球だけでなく機器本体を入れ替える必要があり多額の費用がかかることが判明しました。導入した場合、どれくらいの期間で償却できるのか検討します。



予算審査特別委員会で慎重に審議。

平成30年度 一般会計予算

反 対

私は平成30年度高山村一般会計予算に反対する立場から討論致します。

地方交付税の予算額が、少なく見込みすぎでは。安全確実に予算を組むのはわかるが、少なすぎる。歳出では、職員の超過勤務手当の額が少ない。サービス残業が日常化しているのではないか。嘱託職員が47名と資料にあるが、賃金が安すぎる。大幅に引き上げるか、少しでも期末手当の支給の検討を求める。官製ワーキングプアを作り出すことは避けてほしい。家庭保育給付事業は本当に公平なのか、検討を求めたい。

基金も35億円を超えた。有効活用を求め、反対討論とします。

畔上 孝一 議員

賛 成

平成30年度の一般会計予算総額は39億5800万円となり前年当初予算比3.9%減です。

高齢者及び障害者・子育て支援関連、並びに新たな公共交通や「YOU 游ランド」整備など、「中山間総合整備事業」や「就農おためし住宅」新規就農者、畜産など担い手農家の育成、「プレミアム付き商品券」発行事業への支援、「観光振興地域活性化事業」・「賑わいの場づくり」の推進、役場前交差点改良工事、村営住宅購入費、デジタル行政無線や「アラートの更新、きめ細やかな学習環境の整備、給食費の引き下げ、高校生の通学補助、教育環境の整備に力を注いだ予算です。以上のことから賛成します。

松本 茂 議員

平成30年度 国民健康保険特別会計予算

反 対

全国の国保税の1人当たり金額は、1980年代が3～4万円、2000年代以後は8～9万円、現在は9.1万円です。今後高齢化や医療技術の進歩により、2025年では11.2万円になると厚労省は試算しています。本村の国保加入世帯はおよそ1000世帯、1900人。1人当たり国保税は約10万円。全国平均より約1万円高額です。国保積立基金は1億円以上あり、10%取り崩せば、1世帯1万円減額できます。「国保税引き下げのための基金の取り崩しは条例上できません」が、「今後推移をみて検討」していただき「払いたくても払いきれない村民がいる」ことを思い、負担の軽減を求め反対討論とします。

湯本 辰雄 議員

賛 成

住民の健康と地域医療に重要で、国民皆保険制度の中核をなす国民健康保険の、本村の平成30年度予算は、前年度比9.9%減の8億9986万円です。持続可能な医療保険制度と、国民皆保険堅持のため、4月に制度改正し、県が市町村と運営を担います。

平成30年度は「村の保険税率」が「県の標準保険料率」を若干上回りますが、それ以降の「標準保険料率」は、大幅上昇が予想されます。

国民健康保険運営協議会の答申を尊重し、村の平成30年度は税率据え置きです。基金は激変緩和に充てる計画で、安定的な財政運営が期待されます。以上のことから、この予算に賛成します。

西條 正純 議員

条例新設

「高山村防災資機材等備蓄倉庫設置条例」

災害等の非常時に必要となる食糧、生活必需品、防災資機材の物資を備蓄し、供給する拠点として防災資機材等備蓄倉庫を高山村大字高井5000番地1に設置する条例が新設されました。

全員賛成

「高山村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例」

介護保険法の規定に基づき、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準並びに指定居宅介護支援事業者の要件を定める条例が新設されました。

全員賛成

連携協約

「長野市及び高山村における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の一部を変更する連携協約」

長野市と連携して民間等バス路線の再編など、地域公共交通ネットワークの調査・研究・形成等に向けた取り組みを行うため、連携協約の一部を変更する連携協約が承認されました。

全員賛成

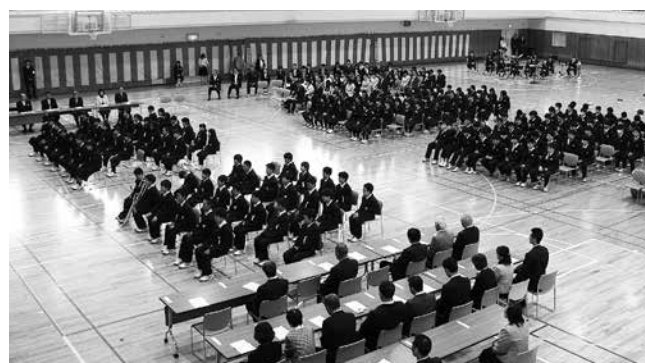
3月定例会 一般質問

3月定例会の一般質問は3月6日に開かれ、7名の議員が14の事項について質問を行いました。

頁	質問議員	質問事項	答 弁
8頁	松本 茂	高山村特産品のりんご・ぶどうの振興対策を	高山ブランドが維持できるよう支援します
9頁	西原 澄夫	村内で年々増加する「空き家」の有効活用は	引き続き「空き家バンク」登録件数増に取り組みます
		消防団員の高齢化が進む中で団員の確保は	「女性団員」や「機能別団員」などの採用も検討します
10頁	湯本 辰雄	国保税の引き下げを求める	現段階では、引き下げはできません
		噴火災害情報の充実を	草津白根山火山ハザードマップを見直します
		Uターン農業後継者に経営補助金(仮称)の新設を	現行制度の活用をお願いします
11頁	水谷 清	人口8000人の村づくりの現在認識は	村民の元気の出る村づくりの一環
		ふるさと納税で村の独自性は	返礼品は村内産が条件
12頁	西條 正純	新しい公共交通網の財政負担とネットでの対応は	負担は軽減、ネットは検討します
13頁	畔上 孝一	防災無線の有線化のメリットは	防災力の強化と確実な情報伝達
		デマンド方式の交通の導入は	本年10月から運行予定
		就農おためし住宅の利用状況は	7回の就農体験会で延べ12名が利用
14頁	涌井 仙一郎	国民健康保険の基準外繰り入れは	一般会計からの基準外繰り入れについては行うべきでない
		村公共インフラ施設の老朽化対策は	「駒場橋」は平成31年度から工事に着手する計画



高山小学校に入学する1年生は60人。とても緊張しています。4月5日。



高山中学校校入学式。1年生51名は吹奏楽クラブの演奏で入場しました。4月5日。

松本 茂 議員



高山村特産品の

りんご・ぶどうの振興対策を

答 高山ブランドが維持できるよう
支援します

支援します

質問 りんご・

ぶどう農家に効

果的な育成事業を

①新規就農者と里親指導

者の受け入れ体制は。

②農業後継者に村独自の

助成制度の新設を。

③新わい化など果樹苗木

の補助制度と利用状況は。

④りんご圃場の整備状況

と信州「高山さわやか

りんご」の生産の維持、増

産対策の支援は。

⑤ふるさと納税返礼品と



収穫期には賑わいをみせる高山りんご共撰所の直売所。

して、りんご・ぶどうの申し込みが多いと聞いているが、最終的なふるさと納税の総額と返礼品の対応状況は。

答弁（内山村長）

①平成18年度より29年度までに村外から移住し就業された方は16名で、作物別には、りんご・ぶどう7名、ワインぶどう6名、その他稲作等に取り組みられている方3名となっております。

里親農業者は、現在本村では11名の登録者の方と新たに5名の方に登録いただく事となっております。

②村単独事業として認定就農者を対象にこれまでの補助に加え、29年度より果樹生産に必要な棚資材の購入経費等も補助対象にします。既存の制度を有効に活用して頂くよう周知していきます。

③ここ数年高接ぎの穂木に対する補助申請があったのみで新わい化などの苗木に対する申請はありませんでした。国の耕作放棄地再生利用交付金を



新規就農者のリンゴ栽培体験会。

活用して平成28年度に2件41aで新わい化栽培の実績があります。

④新植・改植のための苗木の助成、高齢者にも容易に栽培ができるりんごの高密度栽培の普及等、農家の皆さんが意欲を持って果樹生産を維持・拡大していただけるよう、全力を挙げて支援します。

⑤ふるさと納税の受け入

れ総額は1801件、1572万円で、要望のあった返礼品は、ぶどうが516件、りんごが322件で、返礼品全体の8割程度を占めています。

ふるさと納税制度は、厳しい財政状況の中、大変有益な事業であり、村内経済の活性化と魅力ある村づくりに生かしたいと考えています。



西原 澄夫 議員



「空き家バンク」へ登録済みの住宅。

村内で年々増加する「空き家」の有効活用は

答 引き続き「空き家バンク」登録件数増に

取り組みます

質問 高山では、平成28年度に「空き家バンク」が創設されましたが、当初登録された7件以降、登録された所有者がおりません。今後どの様に「空き家バンク」登録の推進を図っていくつもりか。また、新規就農を希望する皆さんなど、利用希望者へどの様に情報を提供していくのか

答弁（牧建設水道課長）

村では人口減少が進み、一部の集落では集落の維持が難しくなっています。空き家を有効に活用して頂く事が人口減少に悩む地域にとっては、有効な手立てと考えられます。

今後、区長会議やブロック行政懇談会など、あらゆる機会を捉えてこの制度について説明し、先ずは「空き家バンク」登録件数を増やす事に全力を尽くします。情報提供については、全国版の「空き家バンク」の検索サイトへの参画を検討していきます。

消防団員の高齢化が進む中で

団員の確保は

答 「女性団員」や「機能別団員」などの

採用も検討します

質問 人口減少や少子高齢化、就業構造の変化に伴い団員を確保することが、難しくなっております。今後、機能別団員、女性団員、期限付団員な

どを採用する考えはないか。
答弁（宮本総務課長）

入団時に決めた特定の活動・役割等に参加する「機能別団員」や、女性と

しての感性を生かし、地域住民と密着した活動を展開していく上で、重要な役割を果たす「女性団員」。主に昼間の消防力を強化するための、2年間等の期限をつけて団員となる「期限付団員」など、どのような形態を取り入れることが、本村消防団活動の活性化につながるのかを含め検討します。



技術大会に向けて、早朝の訓練に励む消防団員。



湯本 辰雄 議員

国保税の引き下げを求める

答 現段階では、引き下げはできません

質問 国保税は県内の町村の1人当たり平均国保税より約1万円高額です。4月から国保会計が県に移管されます。

①本村の国保基金が1億円程あるので、取り崩して1人当たり1万円の値下げを求めます。
②今後の基金の取り扱いはどうするのか。

答弁(宮川村民生活課長) 国保会計は医療費の増

額が続いています。県への納付金と村民からの国保税収入等との差額は少なく、国保運営協議会からは「据え置き」との答申が出されました。

①基金を取り崩しての国保税の引き下げは、現段階の国保運営状況を踏まえると引き下げはできません。

②医療費の急激な増高もあるため、今後も適正な運用を図ります。



国保高山診療所。

噴火災害情報の充実を

答 草津白根山 火山ハザードマップを見直します

質問 今年の1月23日に草津白根山の本白根山で噴火しました。死者1名、11人が重軽傷を負いました。

①本村での被害状況。
②気象庁などからの噴火情報の有無。
③本村の噴火防災計画の有無や、住民への周知状況について。

答弁(藤沢副村長)

①被害はありません。
②事前の噴火情報はありません。
③草津白根山火山ハザードマップを見直し、周知啓発を図ります。

Uターン農業後継者に

経営補助金(仮称)の新設を

答 現行制度の活用をお願いします

質問 企業を退職後は「親から受け継いだ農地を守ろう」という皆さんが多いです。年金受給年齢が65歳になり、60歳以上で新たに農業経営される方々は自己責任で田畑の維持管理を行うおとして

います。そこで機械の導入、肥料、種苗、農薬等の購入が必要ですが、有利な助成制度についてご不明の方が多いかと思います。

答弁(柴田産業振興課長)

55歳までの農業者を対象にした支援事業は各種ありますので、現行制度の活用をお願いします。60歳以上の方も、農協や村に相談してほしい。



2018年01月23日17時11分 群馬県の草津白根山の本白根山が噴火しました。



水谷 清 議員



ふるさと納税の対応についても質問をしました。業者委託に伴う村の独自性の確保と、特産品の活用については、返礼品が村内産であることが条件とのこと。また目標額については、納税者の好意によることから定めることは困難との答弁でした。

人口8000人の村づくりの現在認識は

答 村民の元気の出る村づくりの一環

質問 人口8000人の

村づくりですが、長として
当選した時期より人口は
減少しており、このままの
ペースでいきますと、あと
数年で7000人を割り
込むという厳しい状態に
なると思います。どのよう
な対策なり政策をもって
おられるか伺いたい。

答弁 (内山村長)

7000人余りの人口
を8000人という高い
ハードルを掲げたのは村
民の皆さんに何かと元気
を出してもらい、大きな
期待と願いを持っていた
だきたいと思っっているか
らです。村民の皆様が将
来にわたり、「生活の質」

「心の豊かさ」「高山村に
暮す幸せ」を実感できる
政策に取り組んでいきま
す。

まず、婚活事業や子育て
支援の充実、住宅環境
の整備、雇用の確保、産
業の振興などがあります。
また「道の駅・星の駅」
構想は、新たに「賑わい
の場プロジェクト」とし
て取り組み、元気な観光
の基盤づくりにするつも
りです。

人口減少抑制政策とし

て結婚から妊娠、出産
子育て、教育に至るまで
ライフステージに応じた
祝い金や給食費の引き下
げなど子育て支援等の充
実に努めてまいります。
若い皆さんや子育て世代
の皆さんに魅力ある住み
よい村づくりに努めてま
いります。

再質問 改めて「めざせ、
8000人」の人口問題
は村長としての公約です

か、確認いたします。
答弁 私としての公約と
受け止めています。村民
の元気の出る村づくりの
一環とっております。



西條 正純 議員

新しい公共交通網の

財政負担とネットでの対応は

答 負担は軽減、ネットは検討します

質問 村の現状

のバス路線は利用者も少なく、赤字路線であることは村民のだれもが承知してはいますが、交通弱者は公共交通しか頼るものがあります。

質問 村は「高山地域公共交通再編」の10月実施を示しましたが、この計画は国土交通省から認定されたのか。

現状のバス運行は、村が赤字補填していますが、新しい計画は村の財政的

な負担が軽くなるか。

計画の中のデマンド交通は事前の予約が必要で、今までと勝手が違います。乗降場所・予約など慣れるまで混乱が生じるおそれもありますが、どのように回避するのか。

予約について、ネット対応、予約期限、受付時間、受付体制等の計画はどうなっているのか。

答 弁 (宮川村民生活課長)

国の「財政特例」の認定が受けられるよう国土交通省と協議を進めているところですが、しかしハードルが高く、計画を策定した335自治体の内、認定は21自治体です。

現在は国庫補助対象でない路線系統もあります。新たな計画の2系統は国庫補助対象とし、車両台数や運転手の削減で村の負担金は減額でき、支線交通は10人乗り小型車両の運行で、経費が削減できると考えます。

予約制のデマンド交通は利用方法が大きく変わるため、ブロック行政懇談会・広報紙・ホームページ



導入を予定している「ICカードくるる」は、長野市内を走る路線バスと、すざが市民バスでも利用できます。バスのカード読み取り機に「くるる」を軽くタッチするだけで支払いができ、小銭を用意しなくて済みます。

ようになります。ぜひ早期の導入を。

高井・中山エリアのデマンド交通の対象者は限られるのか、村民以外も利用できるのか。また利用者登録は必要なのか。

答 弁 ネット対応のメリットは理解しています。

高井・中山エリアの方は事前登録が必要です。

再質問 予約をネット対応することにより利用者が増える可能性が高く、相乗り申し込みもできる



YOU游ランドの駐車場から芝生広場と建物を望む。ここが交通結節点になりますが、待合室などの場所は検討中。支線交通への乗り継ぎがしやすく、無線LANが使える便利な施設が期待されます。



畔上 孝一 議員



現在の防災無線が老朽化したため、家庭の放送は光ケーブルを使った有線放送になりますが、屋外の放送はデジタル化された無線で放送されます。

防災無線の有線化のメリットは

答 防災力の強化と確実な情報伝達

質問 農村情報連絡無線の光ケーブルを使つての有線化のメリットは。

災害時の停電や断線等の対策は。

須高ケーブルテレビ未加入世帯への対応は。

答弁 (内山村長)

防災無線は30年余り経過しており老朽化が進み、機器の更新時期を迎えています。80%近くの世帯が加入している須高ケーブルテレビの光ケーブル

網を活用することで、さらなる「防災力の強化」と「確実な情報伝達」ができます。

災害時等の停電時でも「無給電出力機能付光端末」を各家庭に設置し放送が出来るよう計画しています。

また、FM電波を使用する放送局、いわゆる「防災局」を使い、速やかな放送支援体制を整えて災害時の断線等の対策を整

備します。

須高ケーブルテレビ未加入の皆さんには防災上大変重要な施設ですので十分周知をし、ご理解とご協力をお願いして配線工事を実施します。

各戸の戸別受信機は村の条例に基づき貸与としておりますので今回も1台目は無償貸与を考慮しています。

デマンド方式の交通の導入は

答 本年10月から運行予定

質問 地域公共交通網計画のデマンド方式の導入をもっと村民に知らせ、理解を得る必要があるのでは。山田温泉、牧区の運行計画は、乗り換え拠点には待合室の設置を。また料金の割引制度はあるのか。



10月から新しく公共交通システムが構築され、支線交通は10人乗りの小型車になります。写真は現在村内を回っているふれあい号。

答弁 (宮川村民生活課長)

新しいデマンド方式を取り入れたバスの運行を本年10月から実施を予定しています。計画を移行に移す前に、その内容を

ブロック懇談会をはじめ、区長会等の各種団体の会議の中で説明をします。また、チラシの全戸配布や須高ケーブルテレビなどあらゆる媒体を通して周知を図っていきます。

山田温泉と牧区は朝夕はこれまでと同じ長電バスを運行。10時から16時

頃の間は支線交通として10人乗りのワゴン車運行を予定しています。

デマンド方式の予約は保健福祉総合センター内で行う予定です。乗り換え場所となるYOU遊ラウンドには待合室が必要と考えますが、場所等は検討します。

70歳以上の方や障害をお持ちの方等には村が7割を負担する割引制度「おでかけパスポート」を検討しています。

涌井 仙一郎 議員



県立信州医療センターの新棟（東棟）。医療費後払いサービスが導入されています。

国民健康保険の基準外繰り入れは

答 一般会計からの基準外繰り入れに

ついては行うべきでない

質問 平成30年

度から国民健康

保険制度の財政

運営主体が県に移り、保

①標準保険料はこれまでより、安くなるのか。

②保険給付費は増加傾向にあるが、一般会計から基準外繰り入れについて、どのように考えておられるか。

③県内市町村の動向を見

ながら、算定方式について税制改定とともに検討していきます。

④医療給付の急激な増高などにより、国保財政が危機的状況に陥った場合に、基本的には今ある基金の取り崩しや、国保税の見直し等により対応します。恒常的な一般会計からの基準外繰り入れについては行うべきでないと考えております。

村公共インフラ施設の老朽化対策は

答 「駒場橋」は平成31年度から工事に着手する計画

質問 平成29年度からの40年間の期間とする「村公共施設等総合管理計画」が提示されているが、インフラ施設の主な整備計画事業はどうか。

答弁（牧建設水道課長）
特に損傷の著しい「駒場橋」は平成30年度に設計を行い、31年度から工事に着手する計画です。

村道堀之内・荒井原線と荒井原・久保線の修繕工事を実施する予定です。林道湯沢線を中心に8橋の点検を実施、村道と

同様に「橋梁長寿命化修繕計画」を策定します。平成31年度からは高井地区の重要な水源である本沢水源からの導水管の布設替えや、牧地籍の屋敷水源の導水管の布設替え工事を実施する予定です。



建設中の七味温泉橋橋梁工事。

新春講演会



新聞記者として各国を回られた松本仁一先生。

1月22日、ジャーナリストで元朝日新聞編集委員の松本仁一先生を迎え、議会新春講演会を開催いたしました。

「中東不安、日本でテロは？」の演題でお話を頂きました。中東というと私たちはメディアから断片的に情報が入るだけですが、松本先生は記者として現地に入られ、アフリカ支局長（ナイロビ）、中東アフリカ総局長（カイロ）を勤められる等、シリア、イラク、イランなどの現地での見聞を含め、私達が聞いたことがないテロ拡散の話など大変勉強になりました。

「アメリカのトランプ大統領の誕生で日本もテロの対象になる」「日本は石油を中東に依存している」ことなどを、詳しくわかりやすく話をしていただきました。先生には遠い高山村まで来ていただき、感謝を申し上げます。

なお、松本先生の講演に際し、梨本議員に大変ご尽力をいただきました。

また、先生のお帰りの際、関東地方の大雪で交通が大混乱しており、昭島市にあるご自宅への到着が夜11時過ぎになったそうです。改めて松本先生にお礼申し上げます。（畔上孝一）

上高井郡町村議会議員研修会

新しい発想で地域起こしを



研修会での遠藤特任教授の講演。（小布施公民館）

2月8日小布施町において、小布施町と高山村の議会議員の合同研修会を行いました。講演は、カーボンナノチューブの研究で有名な、信州大学特任教授の遠藤守信先生でした。先生は、「新しい発想で地域を見直しましょう。」

を主題に、教育の課題や家庭教育についてお話されました。社会や技術が急速に変遷する21世紀は学問の基礎をしっかりと身に付けることにより、創造力を豊かにすることが必要です。創造力を豊かにすることにより、地域創造につながります。来年は高山村で開催します。

（湯本辰雄）

民生産建常任委員会

高山村老人クラブ連合会との懇談会

2月13日民生産建常任委員会はチャオルにおいて毎年恒例の高山村老人クラブ連合会と懇談しました。

それぞれ自己紹介ののち、老人クラブ連合会から高齢化と介護予防に対し、老人クラブの関わり方や会員増強運動について提起がありました。

主な内容は、会員の減少が続いている。新規の会員が少なく、時には各地域の老人クラブが消滅してしまうことなど、大変深刻な状況を説明いただきました。村議会としても特効薬はありませんが、できるだけ協力してまいります。

（湯本辰雄）



チャオルで開かれた高山村老連との懇談会。

☆ 高山村で暮らす私達 ☆



紫区
高井 央葉なかば

私達家族が高山村に移住してきたのは、次女が生まれてすぐという頃でした。

私は長野県小諸市の出身、主人は岐阜県の出身ですが、この高山村の雰囲気はどことなくどちらの実家にも似ていて、懐かしさも感じ、住むことを決めました。

住んでみると雰囲気は合うだけでなく、高山村で出会った人々はみんなとても暖かく、活動的で、とても刺激を受けました。学校支援ボランティア、食育やリユース、読み聞かせの活動等々。

少しずつお仲間に入れて頂き、細々とですが今も楽しく関わらせて頂いています。

そんな活動の中で、こんなに素晴らしい活動をしている方々がたくさんいる高山村だからこそ、大人も子どももおじいちゃんおばあちゃんも、皆で何か楽しいこと、元気になることがしたい！という話が持ち上がり、皆で『Maru Maru Marche (マルマルシエ)』を始めました。『Maru Maru Marche』は、2016年7月に第1回を開催し、昨年までに6回開催



星☆マルシエのカウントダウンに参加。(2017年7月 神明神社)

しました。海外の市(マルシエ)をイメージし、高山村やその周辺でこだわりの持つもの作りをしている人達が市を立て、誰でも寄る事が出来、子ども達も元気に遊べる場所を作ること。そして、その場所を顔を合わせることで「安心」と「幸せ」、そして「暖かくて「楽しい」時間を共有していきたい」と活動しています。今年はまだ新たなことも



所属している和太鼓衆「呑舞楽鼓」で訪問演奏。(長野市御厨)

含めて開催をしていきますので、楽しみにして頂けたらと思います。

また、我が家は家族で和太鼓の演奏や踊り等も楽しんでいきます。こちらもマルシエ同様、人と人が顔を合わせることで、楽しむことの大切さを教えてくれます。夫婦と子ども5人。毎日大騒ぎですが、これからも笑い合いながら高山村での生活を楽しんでいきます。



編集後記

最近10年間の予算推移は毎年若干の増加傾向でしたが、平成30年度の当初予算は縮小予算です。

将来人口推計が国立社会保障・人口問題研究所から発表されました。2015年を100として、30年後の推計は県全体で76・9と推計しています。高山村は69・6で、人口は7033人から4895人に減少としています。人口が減っていくれば会計予算も縮小するというのが関係が、この先続くかもしれません。そのような中で、予算配分をチェックすることが議会の大切な使命です。

(西條正純)

発行責任者	議長	酒井 康臣
議会報編集特別委員会	委員長	涌井仙一郎
	副委員長	西條 正純
	委員	湯本 辰雄
	委員	畔上 孝一
	委員	梨本 修造

発行 / 〒382-8510 長野県高山村議会
編集 / 議会報編集特別委員会
TEL (026) 245-1100
印刷 / ㈱オフセット